

2006年度同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験問題　〔小論文〕

第1問

次の文章を読んで、(1) 地球環境問題の解決に「人類共同体の自律」が必要とされる理由、および(2) その自律が可能となる条件について、筆者の見解を要約せよ(800字以内)。なお、解答に際して、カントの考えた自由主義社会における「個人の自律」に言及すること。

(300点中100点)

【文章の掲載は、省略。】

出典：城戸敦著「カント的な自由主義と地球環境の倫理」より。見出し等は省略。

(加藤尚武編『共生のリテラシー ―環境の哲学と倫理―』東北大学出版会 2001年所収)

第2問

次の4つのフレーズを全て用い、その他の点にも言及しつつ、「公共放送」のあるべき姿を1600字以内で論ぜよ。その際、以下の資料を参考にし、そこに表明された意見に適宜触れること(論者の名前を記す必要はない)。但し、それらの単なる要約とはせず、自分の見解としてまとめること。本問において、「公共放送」とは、「有料放送での視聴の対価や広告料ではなく、締結を強制された受信契約にもとづく受信料を財源とする放送サービス」として理解せよ。

「多チャンネル時代」

「視聴率」

「政治番組」

「娯楽番組」

(300点中200点)

【資料の掲載は、省略。】

出典：松田浩『NHK～問われる公共放送～』(岩波新書 2005年) 13頁～14頁、30頁～32頁より抜粋

第一回「デジタル時代のNHK懇談会」議事録より抜粋

第二回「デジタル時代のNHK懇談会」議事録より抜粋

第三回「デジタル時代のNHK懇談会」議事録より抜粋